



兵庫県
会議員

内藤兵衛

発行

兵庫県議員内藤ひょうえ事務所
〒679-1103 多可郡多可町中区牧野30
TEL.0795-20-7186 FAX.0795-32-2793

県政NEWS
2008.4

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

再生元年スタート

平成20年度県当初予算

生活に密着した施策に重点配分

予算特別委員会で論陣張る

きめ細かく、幅広く 具体策をたどす

総額3兆4千613億円にのぼる平成20年度県当初予算案は、3月21日、第294回定例県議会にて原案通り可決されました。一般会計の総額は1兆9千762億円で、昨年度比5・4%の減となっています。新年度予算は、兵庫再生スタート予算と位置づけられ、「兵庫の元気の創出」や「家庭と地域の再構築」など、生活に密着した施策に重点配分した、課題対応型の編成となりました。

予算案とも呼ばれるこの定例県議会で、内藤兵衛県議員は予算特別委員会委員に選ばれ、連日集中審議に臨みました。加えて、初の一般質問に登壇、数多くの提言を交えて鋭い質問を行いました。



施策に対して提案を盛り込んで質問する内藤兵衛県議員

内藤県議が予算特別委員会でご意見をきめ細かく挙げ、自らの提案を交えながら質問するとともに、施策に反映するよう強く求めました。

特に地元から要望が多かったシカ防護柵や合併支援道路の早期整備、歩道整備、信号機の設置など。

どについても、切実に現状を訴えました。質問・要望事項は次のとおり。

【農林水産部】

有害鳥獣による被害防止対策▽遊休農地活用へ飼料用稲の研究・開発とバイオマスエネルギー作物の栽培の促進▽山田錦の需要拡大▽県産材の利活用による需要の拡大

【県土整備部】

県内中小企業の健全育成につながる入札制度の見直し▽合併支援道路事業の早期整備▽子どもや高齢者が安心して歩ける歩道の整備▽「ひょうご治山・治水防災実施計画」の見直し方針▽自動二輪車駐車場の整備促進

【企業庁】

予算の基本方針▽株夢舞台の経営改善▽産業用地売却の促進▽ひょうご情報公園都市の整備

【公安委員会】

信号機設置の現状と今後の予定▽ミニパト未配備駐在所の解消▽警察官の確保と職業意識の醸成

【健康生活部】

介護支援サービスの的確な情報の提供と相談体制の充実▽訪問介護、グループホームなど介護支援サービスの地域格差問題への取り組み

地域が活きる県政展開を

平素は、各般にわたり絶大なご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。県議会で席を占めさせていただいて早や10カ月、地域から寄せられた切実な願いを県政に届けるために全力疾走を続けてまいりました。

20年度予算案を審議する2月定例県議会では、初の一般質問に登壇する機会を得ました。

一般質問、予算特別委員会の 貴重な経験を今後にかす

父道成が提唱していただきた北はりまハイランド構想を軸に、社会資本の整備、企業誘致、地域医療の確保、その受け皿となる

200人を超える地域の皆さまが見守る中、亡る人材の育成について、提言を交え持論を開陳しました。

私は、厳しい時代であるからこそ地域が活き活き、人々が澁刺と日々を質問に加えて予算特別委員会委員として広範な角度から施策に厳しい目を注ぐことができました。民意に鋭敏に反応しつつ、議論の一端に参画できた貴重な経験を、今後の活動に生かしてまいります。

住民の思いを受け止めるために、活き活き地域づくりをまい進することをお誓いします。

ふるさとへの思い熱く

課題解決へ数々の提言



持論を交えながら質問する内藤兵衛県議

内藤県議は、北はりまハイランド構想について「策定から15年が経過した。新たな段階へどのように支援していくのか」と県の姿勢に加え、「構想を先導し、支える基盤となるふるさと街道の未整備区間の早期完成が急務」として、県道のトンネルやバイパス工事、国道427号などの整備状況をただしました。

井戸知事は「地域の再生計画としてのモデルとなるよう振興を図

また地域医療の確保に向けて「医師不足が深刻化する郡部の地域医療を守るという観点から、地元調整に積極的に関わ

井戸知事は「再編ネットワークの視点に基づいて、具体的な仲介案を提

西村農林水産部長は「助

4月から実施されます。

構想の支援方針示せ ふるさと街道の早期完成を

北はりまハイランド構想さらに

波加美線の国道427号からラベンダー園間1.9きは6月の開園時に供用開始②国道427号の175号取り付け部は20年度の完成予定③その西側の西脇市街地への区間は幅員が狭く分かりにくいため、ルート変更も含

地場産業への支援策としては「中国の経済成長は脅威というより大きなビジネスチャンス。戦略と支援が必要」と販路開拓を求めたほか、企業誘致への積極的な営業活動を要請しました。

高購買力のある海外市場を視野に入れ、兵庫発の日本ブランド戦略を展開する」、表具産業労働部長は「協議会を設置して内陸型産業に的を絞った誘致戦略を取りまとめ、情報を発信していく」と賛意を示しました。

自民党県議団が他会派に先駆けて議長に申し入れていた、議員報酬の1割をカットする条例案が2月20日に可決されました。県の財政健全化に向けた取り組みに呼応して「議員自らが身を削り、範を示そう」というもので、

初の一般質問に登壇した内藤兵衛県議員は、北はりまハイランド構想の推進をはじめ地場産業の支援など地域課題の解決について県当局の姿勢をただしました。



質問項目

- 北はりまハイランド構想
 - ・今後の支援方針
 - ・ふるさと街道の早期完成
- 地場産業への支援
- 北播磨地域への企業誘致
- 地域医療確保への支援
- 森林整備の人材育成



地元から200人を超える方々が傍聴に訪れ、内藤県議の一般質問を見守りました



地場産業の販路開拓図れ 企業誘致の積極的な営業を

めて検討④加美八千代線大屋・天船地区バイパス

の整備を推進——などを明らかにしました。

内藤県議

初の一般質問に登壇

内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- ・昭和33年9月14日 多可郡中町(現多可町中区)生、49歳
- ・中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業
- ・私立天理高校卒業
- ・国立大阪大学法学部卒業
- ・昭和57年、(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- ・平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- ・産業労働常任委員会委員
- ・自民党兵庫県連組織副委員長
- ・予算特別委員会委員
- 家族：母、妻、一男／趣味：読書、スポーツ／好きな言葉：一日生涯

報酬を1割カット 議員自ら範示す

議員自ら範示す

自民党県議団が他会派に先駆けて議長に申し入れていた、議員報酬の1割をカットする条例案が2月20日に可決されました。県の財政健全化に向けた取り組みに呼応して「議員自らが身を削り、範を示そう」というもので、